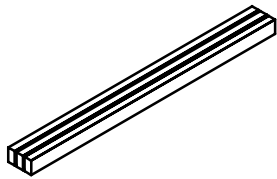


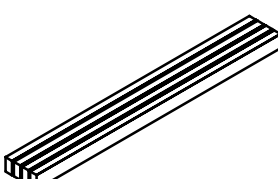
このたびは、ファンダライン「ルーシーベンチ」をお買い上げくださいまして有難うございました。
下記の説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。また、ご使用前にこの説明書を必ずお読みの上、
正しくお使いください。

■施工上の注意事項

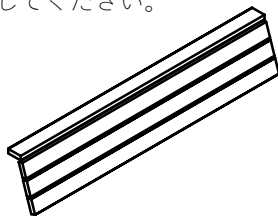
- ・2人以上で組み立ててください
- ・ボルト類の締め付けは全て確実に行ってください。
- ・付属の部品以外は使用しないでください。
- ・施工後、ボルト類のゆるみやガタつきなどがないか点検してください。
- ・ベンチを設置する場所がコンクリートの場合、付属している芯棒打込み式アンカー（オールアンカー）にて固定することを推奨します。
- ・ベンチ座面ユニット、ベンチ背もたれユニットからボルトが出ていますので注意してください。



ベンチ座面ユニットA



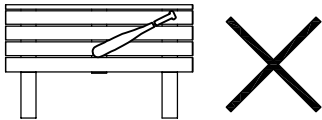
ベンチ座面ユニットB



ベンチ背もたれユニット

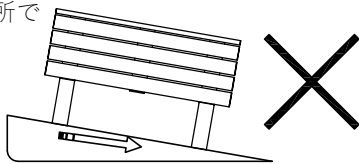
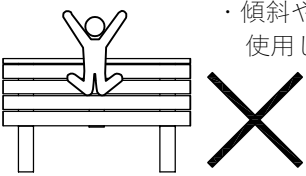
■使用上の注意事項

- ・ベンチの上に重量物を落としたり、堅いもので叩いたりすると、表層材の割れ、へこみ、キズの原因となります。
- ・ベンチ本来の目的以外の用途で使用しないでください。
- ・同色の製品間で若干の色のばらつきがありますので、予めご了承ください。
- ・ベンチを火気使用箇所に設置しないでください。また、火のついたタバコを置いたり、近づけたりしないでください。
- ・ベンチを保管する場合は、平らな屋内で保管をしてください。
- ・雨シミができることがあります。製品に含まれる木粉中の成分に雨水が溶出してできるもののため、有害ではありません。
- ・座面、背もたれに傷、汚れが着いた場合は、＃60程度のサンドペーパーで削ることにより補修することができます。
なお、強く何度も擦ると基材部が出てきますので、削りすぎには注意してください。

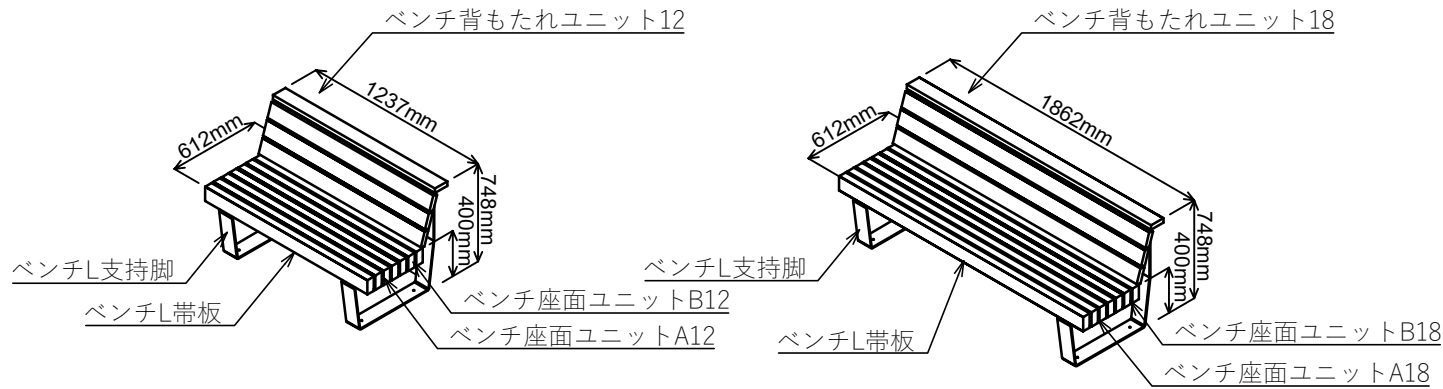


■安全上の注意事項

- ・ベンチの上に登ったり、飛び跳ねたり、背もたれ部分に座ったりしないでください。
- ・傾斜や段差のある不安定な場所で使用しないでください。
- ・隙間に手や足を入れないでください。
- ・人災、天災、地変、その他不可抗力による滑動や転倒によって生じるトラブルについては当社で責任を負うことができません。
- ・ベンチは芯棒打込み式アンカーで固定せずに使用することもできますが、風や地震等の外力でベンチが滑動、転倒する可能性が高くなり、そのことによって生じるトラブルについては当社で責任を負うことができません。
- ・強い振動、衝撃のあるところで使用しないでください。
- ・ベンチは夏期の直射日光下で表面が高温になる場合がありますのでご注意ください。



■姿図



■部材一覧

- 開封時に種類と数量を確認してください。
（ボルト類の袋の内容も確認してください。）
- 商品に異常がないか確認してください

ご準備いただくもの

- M8用ソケットレンチまたはスパナ
- スケール
- ハンマー（芯棒打込み式アンカー用）
- Φ8.5コンクリートドリル（芯棒打込み式アンカー用）
- 集じん機、ブロワー（芯棒打込み式アンカー用）

■梱包内容（ルーシーベンチ0612）

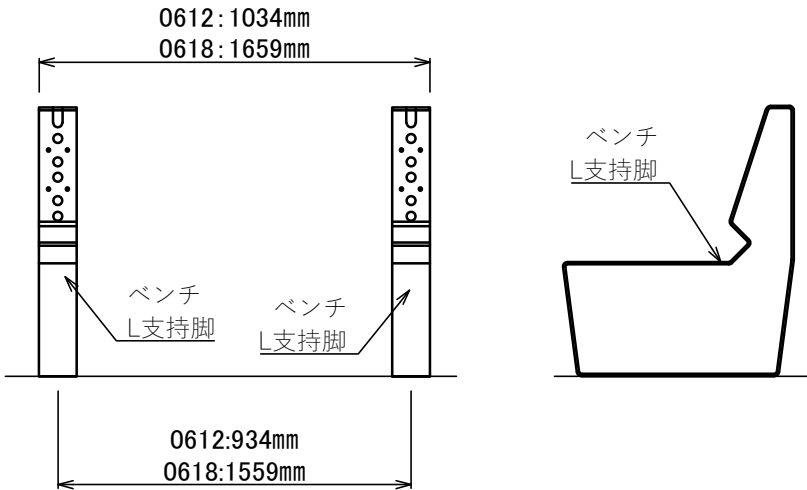
ベンチ座面ユニット A12	ベンチ座面ユニット B12	ベンチ背もたれユニット 12	ベンチL支持脚×2 （2梱包）
ベンチL帯板	金物セット		
	 袋ナット×20個	 スプリングワッシャー ×20個	 ワッシャー×20個 芯棒打込み式アンカー ×4個

■梱包内容（ルーシーベンチ0618）

ベンチ座面ユニット A18	ベンチ座面ユニット B18	ベンチ背もたれユニット 18	ベンチL支持脚×2 （2梱包）
ベンチL帯板	金物セット		
	 袋ナット×20個	 スプリングワッシャー ×20個	 ワッシャー×20個 芯棒打込み式アンカー ×4個

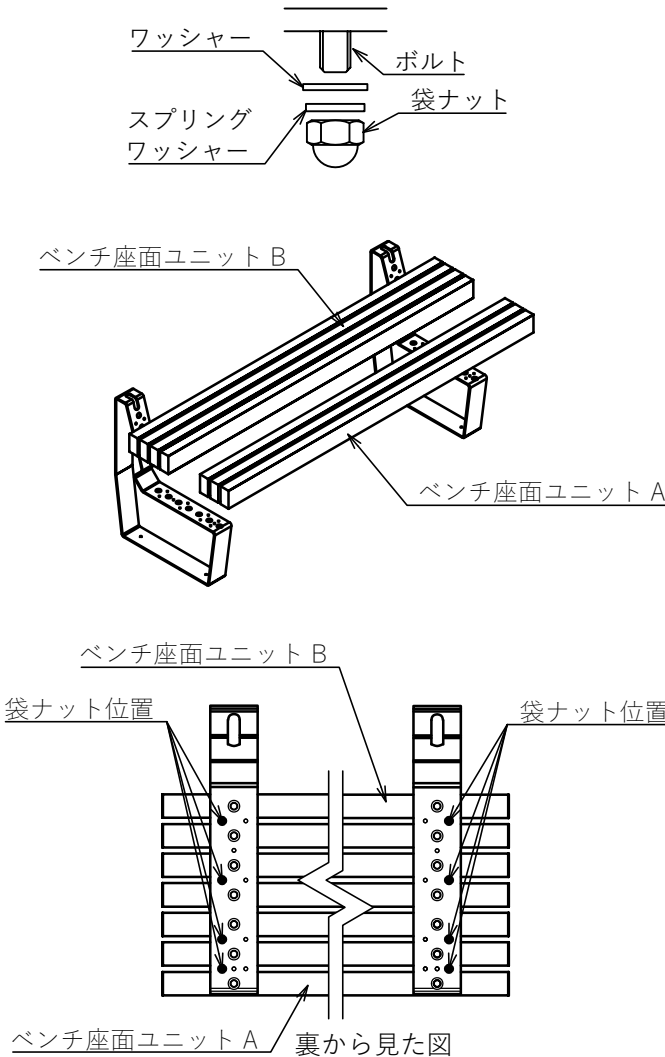
手順1 支持脚を配置

- ベンチL支持脚を下記の位置に仮置きしてください。
既定通り置くことにより座面ユニットの設置が簡易になります。
- 支持脚の下にごみや砂などが入らないように気を付けてください。



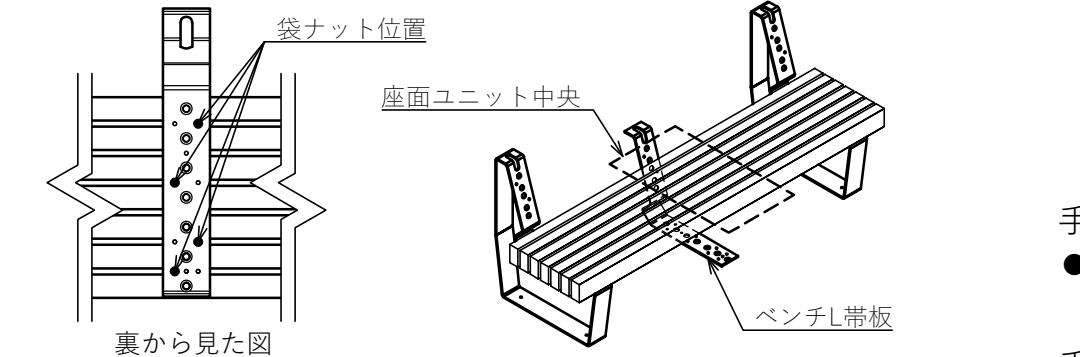
手順2 座面ユニット設置

- 座面ユニット裏側からボルトが出ていますので、支持脚の外側の穴に合わせて座面ユニットA,Bを支持脚に設置してください。
- ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順でナットを締めてください。
※ナットを締めるときは手締めを推奨します。
強い力で締めると座面の一部が破損しボルトが共回りしてしまう恐れがあります。



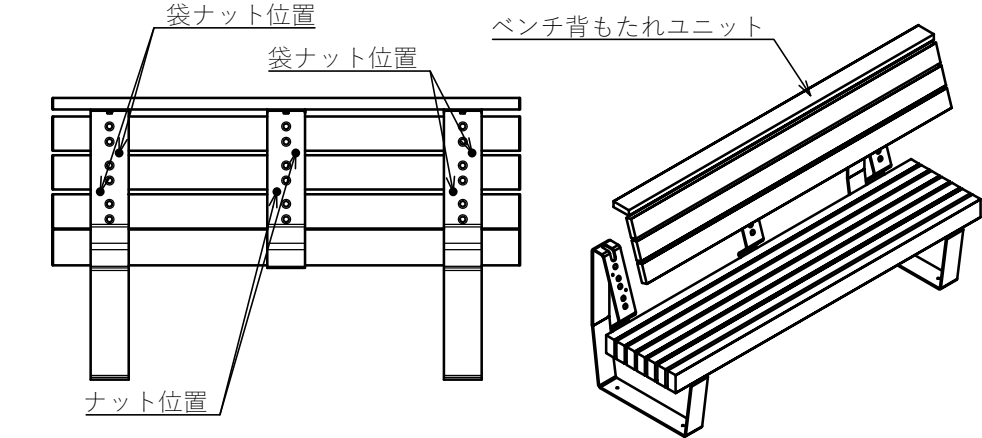
手順3 L帯板設置

- 座面ユニット中央からボルトが出ていますので、L帯板に空いた穴を合わせ下側から設置してください。
- ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順でナットを締めてください。
※ナットを締めるときは手締めを推奨します。
強い力で締めると座面の一部が破損しボルトが共回りしてしまう恐れがあります。



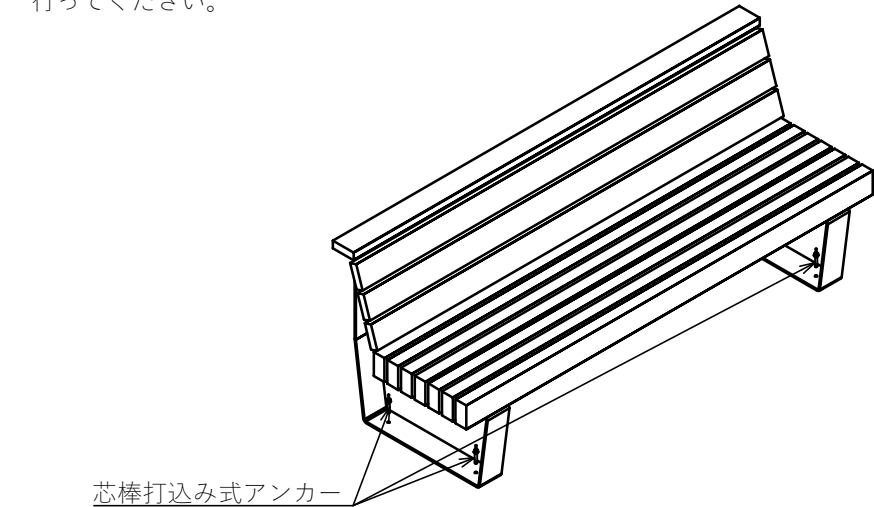
手順4 背もたれユニット設置

- 背もたれユニット裏側からボルトが出ていますので、支持脚の外側の穴に合わせて背もたれユニットを支持脚に設置してください。
- ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順でナットを締めてください。
※ナットを締めるときは手締めを推奨します。
強い力で締めると背もたれの一部が破損しボルトが共回りしてしまう恐れがあります。



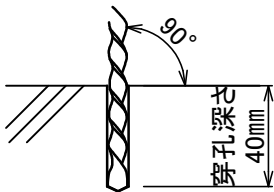
手順5 芯棒打込み式アンカー設置

- 支持脚底面に空いている穴の位置に芯棒打込み式アンカーを設置してください。
※芯棒打込み式アンカー施工時にベンチに傷をつけないよう、注意して施工を行ってください。



手順5-1 穿孔

- 芯棒打込み式アンカーを設置する位置をマーキングし、ベンチをどかした後にΦ8.5のドリルを使用してコンクリートを深さ40mmで穿孔してください。
※付属している芯棒打込み式アンカーはコンクリートに40mm埋込む必要があります。



手順5-2 孔内清掃

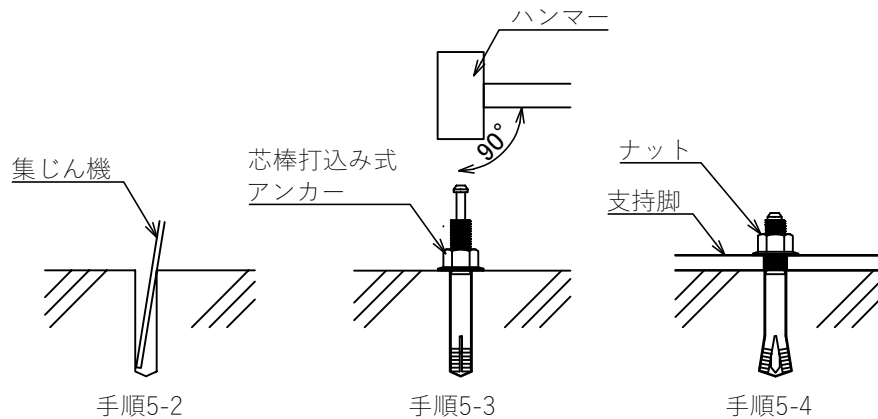
- 集じん機やブロワーなどを使用して孔内の切粉を除去してください。

手順5-3 打設

- ナットを締めた状態で芯棒打込み式アンカーを奥まで設置し、ハンマー等でアンカーを打設しナットを外してください。

手順5-4 取り付け

- ベンチを設置し芯棒打込み式アンカーのナットを締め取り付けてください。



手順6 ナット等ゆるみ確認

- 設置した袋ナット、芯棒打込み式アンカーに緩みがないか、再度確認してください。
※袋ナット、芯棒打込み式アンカーが緩んでいると、ケガやベンチの破損などにつながる場合があります。

●お問合せ

フクビ化学工業株式会社
事業開発本部 まちづくり事業推進室
〒140-8516
東京都品川区大井1丁目23番3号
TEL :03-5742-6321
MAIL:gksgrs@fukuvi.co.jp